



校長室だより

自立に向かって「自分から」

学校と家庭・地域を結ぶ架け橋通信

第13号 令和4年11月2日

小美玉市立美野里中学校

美風祭（合唱祭）に寄せて

11月1日（火）に本校体育館で、2年ぶりの美風祭を行いました。美中祭同様、全校生徒が一堂に会して行うことができました。（無観客での開催になってしまったこと、保護者の皆様方には、大変申し訳ありませんでした。）

午前中は1・2年生、午後は3年生の演奏が行われました。これまで、それぞれのクラスが、合唱を通して、クラスの団結を高めたり、音楽表現の豊かさを感じたりすることができました。

学校に、文化的な雰囲気があることは、とても大切なことです。

小美玉市は、立派な文化ホールが3つもあり、著名なアーティストの公演や文化的イベントが、数多く行われています。こんな恵まれた環境にあるのですから、今後も音楽や演劇、美術などの芸術に親しむ心を培ってほしいと思います。

開会セレモニー・閉会セレモニーでの校長の話を綴らせていただきます。

＜開会セレモニー＞

今年度は、全校で美風祭を開催できることになりました。

振り返ってみると、昨年度は、コロナ禍によって、美風祭も中止にせざるを得ませんでした。今年度は、こうして、全校生徒で実施できることを大変うれしく思っています。

美野里中学校は、皆さんの努力の甲斐あって、とても運動が盛んな学校であることが、全県に知れ渡っています。

しかし、美風祭に象徴される文化的な雰囲気が、学校全体に漂うのも、またすてきなことです。

皆さんは、この期間、朝夕、心を合わせて合唱に取り組みました。改善点を出し合ったり、他学年とお互いの合唱を聴き合ったりしながら、より高いレベルを目指してきました。そうした一連のことが、何よりの勉強なのです。

友達と協力すること。

より美しいものを追い求めようとする。



そうした成果を、今日は思う存分、みんなの前で披露してほしいと思います。

感情豊かに、全力で歌い上げて、また一つ中学校生活の大切な思い出を、みんなで作っていきましょう。

＜閉会セレモニー＞

今日は、学校に美しいハーモニーが広がるとてもよい一日となりました。どのクラスも、練習の成果を発揮して、まとまりのある演奏でした。

音楽は人の心を癒やしてくれます。また、豊かにしてくれます。心がざらざらしているときには、今日のように美しい曲を聴いたり、口ずさんだりしてください。きっと、気分が変わるはずです。

もう一つ、美中祭同様、これまで一緒に練習して、ハーモニーを奏でた仲間をいつまでも忘れないでください。

特に3年生は、これから先、卒業しても、自分たちで歌った曲を耳にするたび、今日のことを思い出すと思います。1・2年生は、また来年も、さらに高みを目指して、音楽の奥深さを味わってください。

美風祭を全校生徒で、行えたことに感謝して、閉会の話とします。